

## 2023年4月ブログ集

### 目次

4月1日	LoTW ステータス.....	3
4月2日	ARI EME contest 初日.....	4
4月3日	ARI EME contest 2日目.....	6
4月4日	モモの花が満開.....	7
4月5日	ST2NH Sudan.....	9
4月6日	大谷翔平が今季1勝目を挙げた試合をライブで観た.....	11
4月7日	続 430MHz 帯用フィルターの製作.....	12
4月8日	今が旬！山菜の王様：タラの芽.....	19
4月9日	春のセーリング.....	20
4月10日	ビニール張りを開始.....	20
4月11日	ビニール張り・蕨採り・防除①.....	21
4月12日	ビニール張り・蕨採り.....	27
4月13日	ビニール張り完了.....	29
4月14日	CY0Sをコンファーム.....	31
4月15日	VNA校正用アクセサリの製作.....	31
4月16日	猟友会分会の総会と安全射撃大会.....	32
4月17日	VU7W Lakshadweep Islands.....	33
4月18日	昼間のお月見（EME）.....	34
4月19日	続々 430MHz 帯用 LPF の製作.....	37
4月20日	ブドウの芽が出始めました.....	44
4月21日	ブドウの樹の株元に畳表を敷く.....	45
4月22日	Husqvarna のプロアをポチッとしました.....	45
4月23日	筍掘&プチピザパーティー.....	48

4月24日	「刈れるんです！！」を使ってみました.....	48
4月25日	430MHz 帯用 LPF をケースに入れて完成！ .....	50
4月26日	TG 付スペアナ by ADALM Pluto.....	51
4月27日	FIAT DUCATO H2L2 を見に行きました.....	52
4月28日	VU7W は今日まで.....	55
4月29日	葉面散布 1 回目.....	55
4月30日	キャンピングカーの雨漏り修理.....	57

## 4月1日 LoTW ステータス

月が替わったので、3月下旬のログを LoTW にアップロードしました。しかし、近頃はアップロードしたログが反映されるまでにかなり時間がかかるようになりました。CYOS との QSO などは反映されていませんが、Challenge は 2187 となり 3 月 3 日時点よりも 27 増えました。春の DX シーズンが終わり、夏休みに入る前に 2200 コンファームできれば良いなあと思っています。6m は 98 になり、あと 2 つで 10 バンド DXCC 完成です。8 月までに達成できれば良いなあ・・・

Your Logbook DXCC Account (JH4ADK - JAPAN)					
Account Status					
DXCC Award	New LoTW QSLs	LoTW QSLs in Process	DXCC Credits Awarded	Total (All)	Total (Current)
<a href="#">Mixed</a> *	4	0	324	328	318
<a href="#">CW</a> *	3	0	299	302	300
<a href="#">Phone</a> *	1	0	258	259	251
<a href="#">Digital</a> *	18	0	271	289	289
<a href="#">160M</a> *	0	0	118	118	118
<a href="#">80M</a> *	4	0	182	186	186
<a href="#">40M</a> *	3	0	266	269	268
<a href="#">30M</a> *	7	0	254	261	261
<a href="#">20M</a> *	4	0	279	283	278
<a href="#">17M</a> *	22	0	238	260	260
<a href="#">15M</a> *	23	0	248	271	268
<a href="#">12M</a> *	56	0	165	221	221
<a href="#">10M</a> *	48	0	178	226	224
<a href="#">6M</a>	9	0	87	96	96
<a href="#">2M</a>	1	0	20	21	21
<a href="#">70CM</a>	0	0	1	1	1
<a href="#">Challenge</a> *	176	0	2004	---	2180

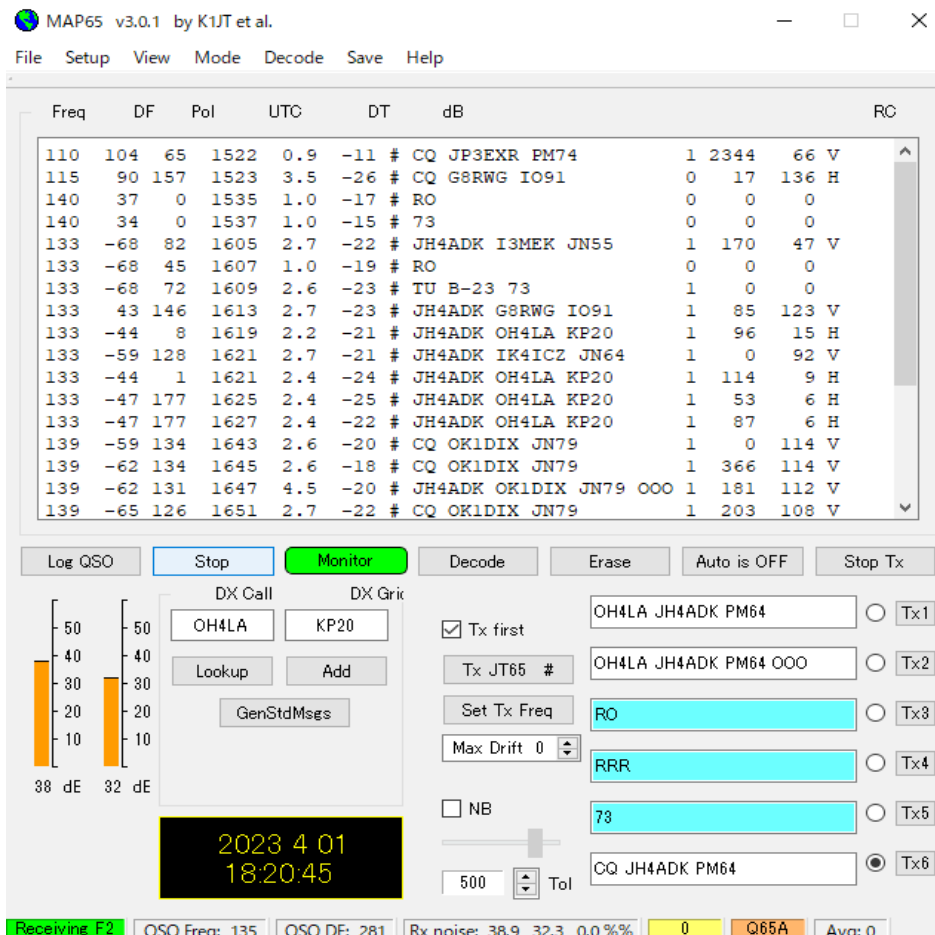
## 4月2日 ARI EME contest 初日

1週間程前に CY0S が DX ペディションに行っていた時、2mEME もやるというので、EME のコンディションとしてはあまり良い状態ではありませんでしたが、沢山のヨーロッパ局を受信できたり、QSO できたりしたので、DGRD が 3.5 位でもそこそこの実用的だということがわかりました。SM5CUI の MoonTracker を開いて DGRD をチェックすると、3月31日に遠地点だったのにもかかわらず、今週末は DGRD が -2.3~-2.2 というので、こりゃいいわ！と思って、夜中に起きてワッチしてみました。

N0UK のチャットを見ると、沢山の局がオンエアしていて、ARI EME contest が開かれていることを知りました。コンテストに参加するつもりは全くなかったのですが、EME では交信相手を探すのに難儀するので、コンテストはラッキーサインです。

午前3時過ぎに、月が山影に入っ見えなくなるまでオンエアして、5局とQSOし、その内の1局は InitQSO でした。





今夜は、月の仰角が40度になるのは午前1時頃で、10度になるのは午前3時40分頃です。今夜もARI EME contestなので、お月見を楽しもうと思います。

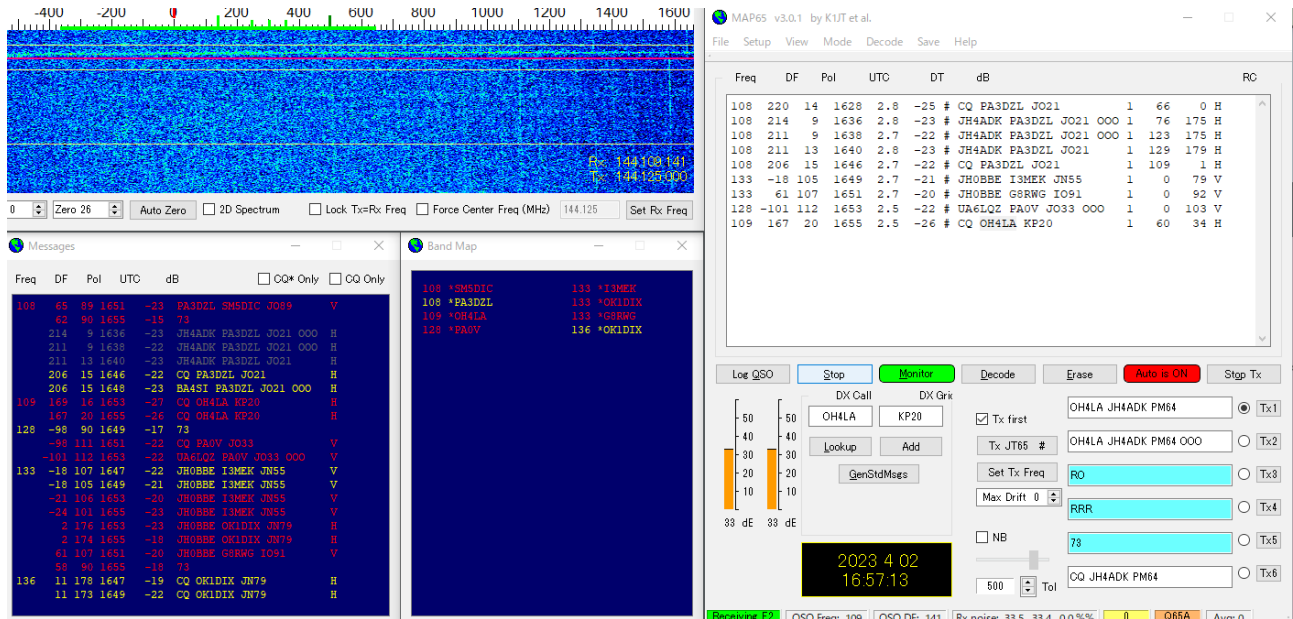
## 4月3日 ARI EME contest 2日目

私は東向け（北米向け）のEMEはアクティビティの低さから切り捨てていて、アンテナは西向け（EU/AF向け）だけにしています。というのは、アジマス（方位角）の制御にもリニアアクチュエータを使用しているので、60度位しか可変できないのです。アンテナの設置場所も東に山や樹があって、東向けには全く対応できないことになっています。

ということで、北米方向には向けることができないので、コンテストがあっても西向けだけに絞って運用しています。まだまだビギナーなので、コンテスト入賞することなど全く意中にもないのです。このコンテストでもログを提出することすら考えていません。

とは言え、多くの局がオンエアする機会なので、今朝も0時半頃に起きて2時間半ほど運

用しました。成果は、4局とQSOできて、その内の1局はinit QSOでした。



MAP65 V3 で運用していますが、144.116MHzあたりから144.125MHzあたりまではゲイン過多のためなのか、ホワイトアウトして受信できません。NOUK チャットを見てみると、その辺りでCQを出す局が多いので困ったものです。いずれ、何等かの対策を講じる必要性を感じていますが、今のところ仕方無いということで、我慢しています。ドキュメントによれば、Linradのフィルター補正は、キャリブレーションに手間が掛かりそうだし、ダイレクトコンバージョン方式（ゼロIF方式）のためのもののようなので未だ試していませんが、しかしこれで補正できればFBです。

## 4月4日 モモの花が満開

標高450mの山あいにある我が家の周辺では、桜が散り始めています。代わりに、ブドウ園脇に植えているモモが満開になりました。



右側の少し薄いピンク色の方が白鳳という品種で、左側の濃い方が岡山ゆめ白桃です。岡山ゆめ白桃は他家受粉が必要な品種ですが、私は、横着なということもあって、自然の力を借りて受粉しています。着実の悪い年もありますが、ゼロだったことはありません。今年は、今日のように天候の良い日に、両方の品種が満開を迎えたので、ミツバチなどによって受粉されることが期待されます。

今日は、ブドウ園のスプリンクラーを動作させてテストしました。ノズルが詰まったり回らなかつたりするノズルを一つ一つ掃除したり潤滑油をかけて回るようにしてました。

今朝の2 m EME の成果はまずまずでした。6局と QSO できて、その内の4局が init(1st) QSO でした。ちなみに、昨日の DGRD は-2.4 でした。



## 4月5日 ST2NH Sudan

4月になって春のDXシーズンが一段落したような気配ですが、今朝、無線小屋に来てワッチを開始すると、DXscapeから10MHzのFT8にST2NHが出ているという情報を得てQSYしました。

ログを見ると、この局とは3回、20/17/15mの各バンドでQSOしているのですが、LoTWではコンファーム出来ていない・・・と思い込んでいたので、あまり熱中して呼んだのではないのですが、QSOできてしまいました。

JTDX by HF community v2.1.0-rc151, derivative work based on WSJT-X by K1JT

File View Mode Decode Save AutoSeq DXpedition Misc Language Help

UTC dB DT Freq Avg=-0.00 Lag=+0.33 Band Activi

220300 -8 0.0 2217 ~ BD4UN 4S7AB RR73

220300 -19 0.0 1355 ~ CQ F5MYH JN07

----- 04.04.23 22:03:29 UTC ----- 30m -----

220315 -5 0.2 2062 ~ JA5ALE ST2NH RR73

220315 5 -0.0 571 ~ CQ BH4TNQ PM01

220315 -20 -0.1 2477 ~ CQ E75C JN93

220315 -1 -0.2 1357 ~ 4S7AB BD4UN R-24

220315 -15 -0.0 2285 ~ BA4MY RZ4M 73

220315 -14 0.3 624 ~ JR1EMO A41NN R+03

220315 -8 -0.1 1577 ~ JR1EMO JK1PRL PM96

220315 -20 0.0 1073 ~ CQ UR5FLN KN56

220315 -19 -0.2 2216 ~ CQ F4CYH JN26

----- 04.04.23 22:03:59 UTC ----- 30m -----

220345 -19 -0.1 2477 ~ CQ E75C JN93

220345 -3 -0.2 1357 ~ 4S7AB BD4UN 73

220345 -15 -0.0 1073 ~ CQ UR5FLN KN56

220345 6 -0.0 572 ~ CQ BH4TNQ PM01

220345 -4 0.2 2061 ~ JH4ADK ST2NH R-08

220345 -17 -0.0 2285 ~ JA5ALE RZ4M L044

220345 -18 -0.2 2217 ~ JH5HDA F4CYH -13

220345 -12 0.3 624 ~ JR1EMO A41NN R+03

----- 04.04.23 22:04:29 UTC ----- 30m -----

220415 -17 -0.0 1073 ~ CQ UR5FLN KN56

220415 10 -0.0 572 ~ CQ BH4TNQ PM01

220415 -18 -0.1 2477 ~ CQ E75C JN93

220415 -9 0.3 2060 ~ JH4ADK ST2NH 73

220415 0 0.1 1433 ~ JR1EMO BD2FW -02

220415 -2 -0.2 1691 ~ JH4ADK BD4UN PM02

220415 -16 -0.2 2216 ~ JH5HDA F4CYH RR73

220415 -17 -0.0 2286 ~ JA5ALE RZ4M R-18

220415 -18 -0.0 839 ~ JR1EMO 9M8HAZ OJ51

220415 -20 0.3 624 ~ JR1EMO A41NN R+03

10.136 000 22:04:42 TX 00/30 Pwr

30m Spt Menu Tx FT8 Report -2 S meter

BD4UN PM02 Tx 1689 Hz Reserved Hound

Az: 261 1211 km

Lookup Add Rx 1681 Hz Wanted AutoSeq

UTC dB DT Freq Message Rx Frequency

220115 -19 0.2 2061 ~ JR1EMO ST2NH R-08

220145 -9 0.3 2063 ~ K3EA ST2NH -18

220215 -11 0.2 2063 ~ K3EA ST2NH RR73

220230 Tx 1689 ~ ST2NH JH4ADK -11

220245 -9 0.3 2063 ~ JA5ALE ST2NH -20

220315 -5 0.2 2062 ~ JA5ALE ST2NH RR73

220330 Tx 1689 ~ ST2NH JH4ADK -05

220345 -4 0.2 2061 ~ JH4ADK ST2NH R-08

220400 Tx 1689 ~ ST2NH JH4ADK -05

220402 Tx 1689 ~ ST2NH JH4ADK RR73

220415 -9 0.3 2060 ~ JH4ADK ST2NH 73

220415 -2 -0.2 1691 ~ JH4ADK BD4UN PM02

220430 Tx 1689 ~ ST2NH JH4ADK -05

220435 Tx 1689 ~ BD4UN JH4ADK -02

GenMsgs CQ DX RRR SkipTx1

BD4UN JH4ADK PM64 Tx 1

BD4UN JH4ADK -02 Tx 2

BD4UN JH4ADK R-02 Tx 3

BD4UN JH4ADK RR73 Tx 4

BD4UN JH4ADK 73 Tx 5

CQ DX JH4ADK PM64 Tx 6

1 QSO

AnsB4

Stop

90

80

70

60

50

40

30

20

10

0dB

Tx: BD4UN JH4ADK -02 FT8 LastTx: BD4UN JH4ADK -02 WD 6m 12/15 Logd ST2NH 04.04.2023 FT8 7717

4つのバンドでQSOできたのなら、紙のQSLを請求することを考えなくては・・・と  
 思ってQRZ.comを開いてみると、LoTW・・・Yesとの記述が目に入りました。そう  
 なんだあ！LoTWでもコンファームできるんだあ！とあって、LoTWを開いて、YourQSOs  
 タブのCallsignWorkedにST2NHと入力してsubmitすると、なんと！全部コンファ  
 ームできていることが確認できました。2022年12月5日にチェックリストを作成した時  
 には、コンファームできていませんでしたので、これ以降にST2NHの方からLoTWにロ  
 グをアップロードされたようです。そう言えば、1月頃にそんなことがあったような気も  
 します。

何はともあれ、目出度くバンドニューをゲットです。

## 4月6日 大谷翔平が今季1勝目を挙げた試合をライブで観た

日本時間の今朝、シアトルで開かれたマリナーズ対エンジェルスで大谷翔平が今季1勝目を挙げたというニュースをご覧になった方も多いでしょう。今朝は、4時頃に目が覚めたので、無線小屋に行ってお月見（EME）を試みましたが、DGRDが-3.5dBというコンディションではS52LMをデコードできたのみでしたので、不発に終わりました。その後、少し早めに朝食を済ませてネットニュースを見ると、大谷翔平が投げているという試合の途中経過を見ました。

こんな時間にやっているんだあ！・・・ネット中継で見られないかなあ？と思って調べてみると・・・ありました！・・・ABEMAで無料でワッチできるんです。試合は3回の表だったと思いますが、そこからゲームセットまで観戦しました。残念ながら、1試合中に投手と打者の両方で「ピッチクロック違反」を犯したシーンは見逃しましたが、3回からしっかり三振を奪って降板するまで見ました。7回表の攻撃でタイムリーを放つ場面も見ることができました。最後まで予断を許さない試合展開で、ハラハラドキドキでした。先日好投したにもかかわらず勝ちを逃がした大谷にとって嬉しい1勝目だったでしょう。コングラチュレーション！

野球ファンではないのですが、暇だったので、最後まで・・・といっても8時過ぎまで、観させてもらいました。西海岸のデイゲームだったので、こんな時間になるんですね。ナイターだったら、午前10時頃プレイボールなので、多分見ないです。東海岸のデイゲームはもっと早い時間になるでしょうし、ナイターだったらWBCの決勝と同じように8時頃プレイボールなんでしょう。これからは野良仕事も忙しくなるので、朝っぴらから野球観戦なんて・・・できそうにありません！



今日は一日中曇りの天気でした。それはそれで、暑すぎず草刈りには適した天候でした。太陽光発電所の中をナイロンコードカッターを着けた草刈り機で草刈しました。ナイロンコードカッターを使い始めて今年で2年目ですが、やさしい・・・なよなよした草はチップソーよりも適していると思うので、この時期の草刈りにはうってつけです。以前は、F1MASAO（乗用草刈機）でやっていた仕事をナイロンコードカッターでやっている今日この頃です。ナイロンコードカッターの方が繊細に綺麗に草刈りができて、気持ち良いのです。

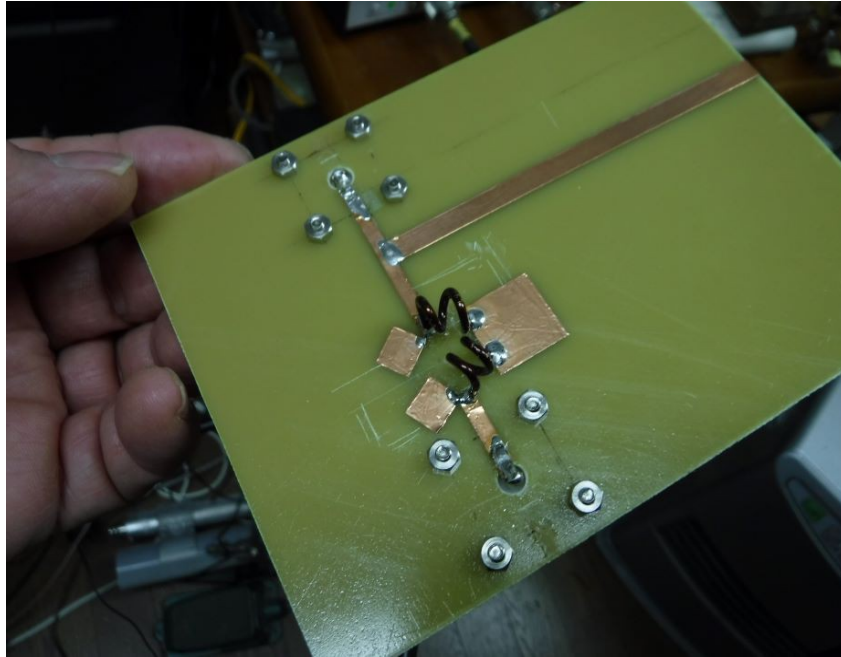
## 4月7日 続 430MHz 帯用フィルターの製作

今日は雨降りだったので、一日中無線小屋でフィルターを製作していました。 $\lambda/4$  ショートスタブで2次高調波を、LPFで3次高調波を抑え込もうという方針です。これまで、別々に製作していたので、一つにまとめたものを製作しました。これまでの実験を踏襲して、3次チェビシェフ型LPFと $\lambda/4$  ショートスタブを組合わせて製作しましたが、SWRが1.2位で、挿入損失が0.7dB位あったので、LPFを5次バターワース型に設計し直して、作り直しました。





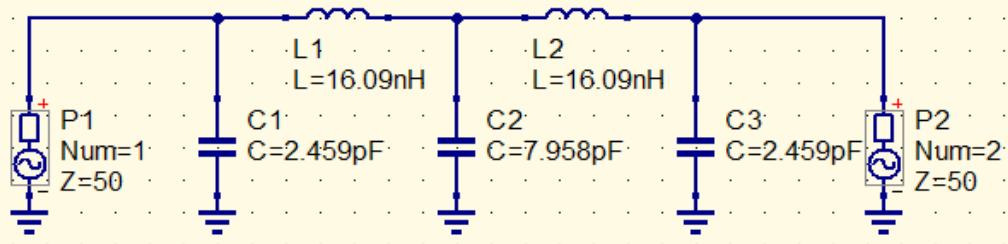




QucsStudio で設計した 5 次バターワース型 LPF の特性と定数は次の通りです。3 次高調波を約 20dB 減衰させることができ、通過帯域のリターンロスは約-27dB という特性です。

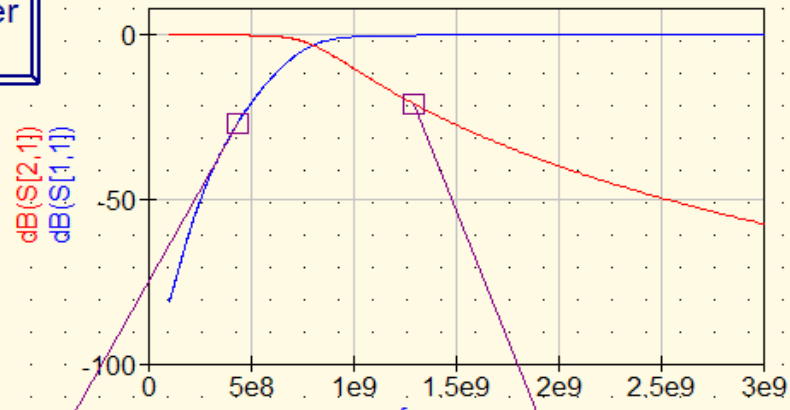


low-pass filter, 800MHz cutoff  
 5<sup>th</sup> order Butterworth, PI-type,  
 impedance 50 ohms



s-parameter  
 simulation

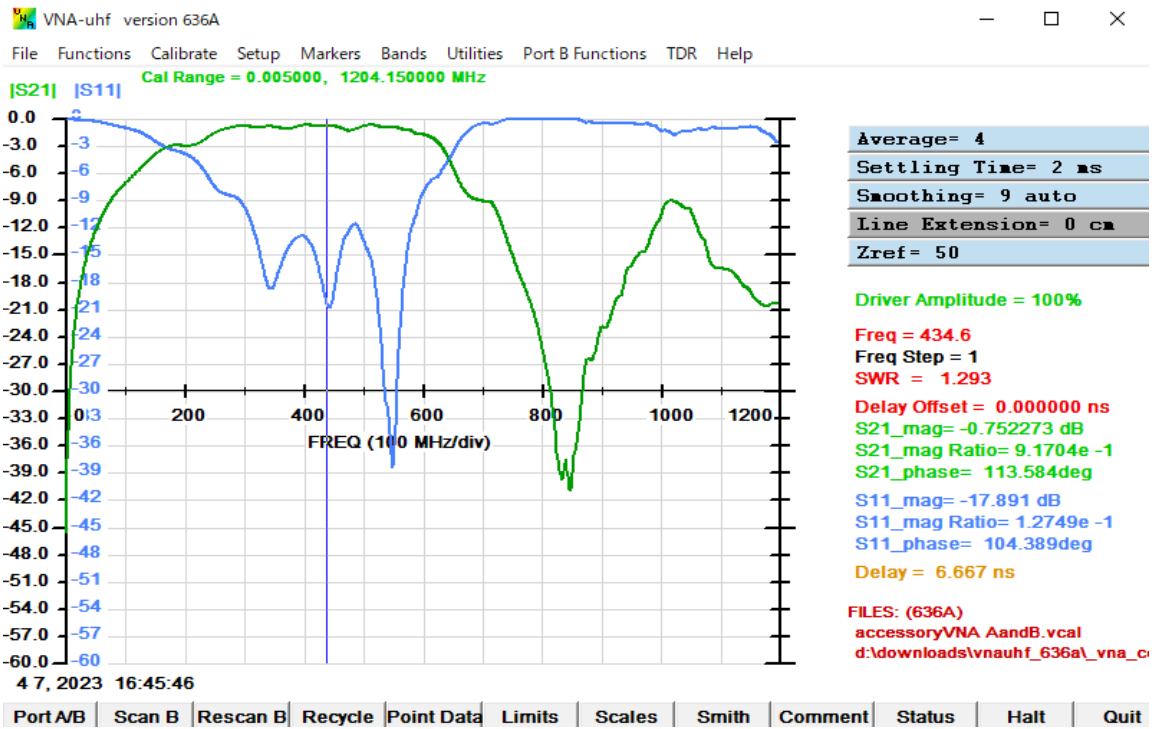
SP1  
 Type=log  
 Start=100MHz  
 Stop=3GHz  
 Points=500



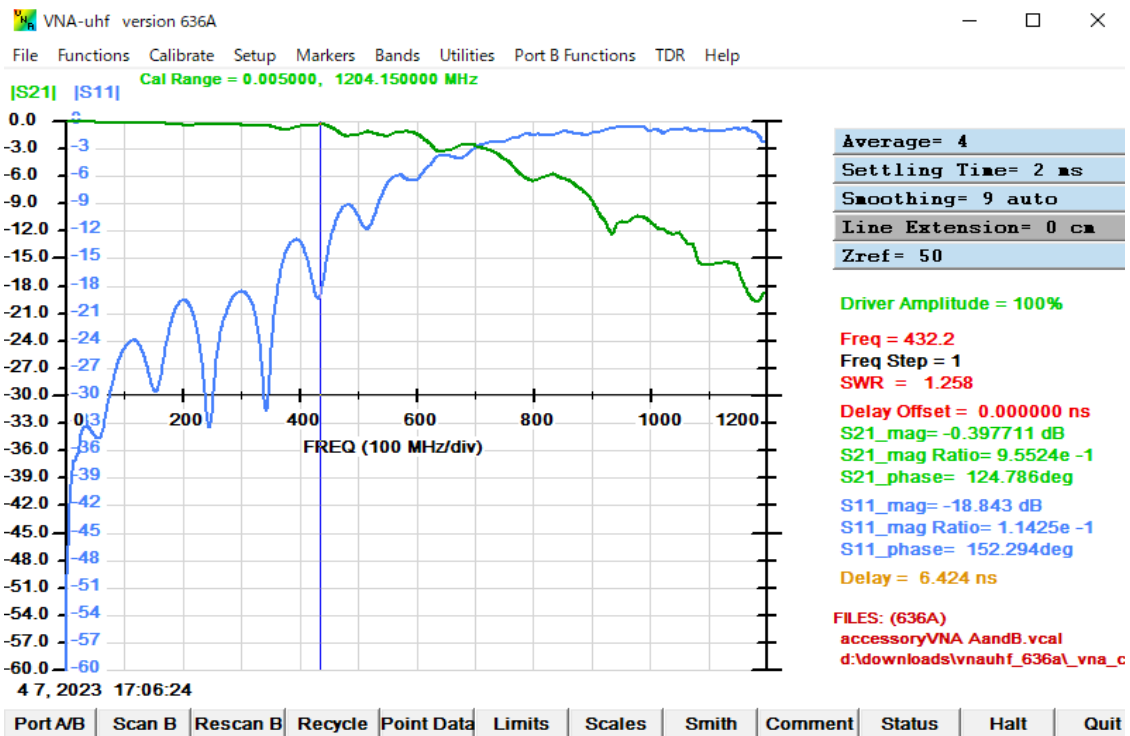
frequency: 430MHz  
 dB(S[1,1]): -26.9

frequency: 1.29GHz  
 dB(S[2,1]): -20.7

$\lambda/4$  ショートスタブと組み合わせた時の周波数特性は次のようになりました。



2次高調波 (896MHz)の減衰は十分ですが、通過帯域でのSWRが1.3で挿入損失は0.75dBと想像していたよりも悪かったので、 $\lambda/4$  ショートスタブを外して、LPFだけの特性を取ってみました。



リターンロス (青線) が波打っていますが、原因は何なのでしょう？キャリブレー

シオンはちゃんとやっているつもりなんですけど・・・

挿入損失は少し減って、約0.4dBになりました。ゼロという訳にはいかないでしょうから、こんなもんなのかもしれませんが、 $\lambda/4$  オープンスタブと組み合わせると通過帯域の挿入損失やSWRが悪くなるのはいただけません。これだと、作り直す前の3次チエビシェフ型の方が良かったような感じです。堂々巡りの感じがしますが、まだまだ工夫の余地がありそうです。

## 4月8日 今が旬！山菜の王様：タラの芽

雨が上がったので、サルの捕獲檻を見回りました。そのついでに、山菜の王様と言われているタラの芽の成長具合をチェックしました。1週間程前に巡回した時には、まだまだだと思っていたのですが、早いものは大きくなりすぎるくらいに成長していたので、慌てて収穫しました。タラの芽を旬の時に収穫するのは、私のような山奥の住人にとっても難しいことなのです。成長は一律ではなく、早いものがあれば遅いものもあります。もう少し待った方が良いなぁと思うようなものは残しました。



## 4月9日 春のセーリング

コロナ騒ぎの期間中は、密を避けるためにヨット遊びは遠慮していたので、前回いつ行ったのか忘れてしまいました。なので、超々久しぶりのセーリングです。海の上から見た牛窓の山並みには未だ咲いている桜も見えました。約10ノット前後の南の風でした。南風の割には肌寒いくらいでしたが、ヨットは気持ちよくセーリングしてくれました。



## 4月10日 ビニール張りを開始

そろそろ、ブドウ棚にビニールを張る季節になりました。草刈りばかりやっても切りがないので、今日からビニール張りを開始しました。ビニール張りは、サッカーに例えるとキックオフのようなものです。これから忙しくなります。



## 4月11日 ビニール張り・蕨採り・防除①

今朝は、5時半起床で早起きしてビニール張りをしました。ビニール張りは、早朝の無風状態の時にするのがベストです。9時を過ぎると風が出てきて、11時頃には最大で10m/s位の風が吹き始めました。昨日ビニール張りをしていて、シャインマスカットの芽が出始めていることに気付いたので、今朝はシャインマスカット、安芸クイーンの順にビニールを張りました。







ビニール張りの後、昼食までの30分程に時間に、ブドウ園の法面に生えている蕨を採りました。僅かな時間でしたが、沢山採れました。



ブドウの芽が出始めているということは、防除①を急ぐ必要があります。午後からは動力噴霧器の試運転をして、防除①のための薬液を200リットル調整しました。その後、デラウェアの棚を少し拡張する工事（トンネルメッシュを継ぎ足す工事）をしました。

5時頃になると風が落ち着いてきたので、防除作業をしました。今日のところは、シャ



インマスカット、デラウェア、安芸クイーンの棚だけ先に防除作業をしました。ピオーネの棚は後日、なるべく早い内に防除作業をするつもりです。





今日の夕食は、筍ごはんには鯛の潮汁でした。今年初めての筍ごはん、毎年これを楽しみにしています。



## 4月12日 ビニール張り・落採り

目覚めると、弱い雨が降っていました。ネットで天気予報を見ると、9時頃には上がる

ようですが、その頃には風速3m/sになるとのことでした。雨と風のどちらが良いかと言うと、雨の方がまだマシです。ということで、小雨の中、ビニール張りをしました。雨が上がってから、ビニールを押える紐かけをして11時頃には終わりました。残り6列(300m)です。今週末もイベントがあるので、何とか明日の作業でビニール張りを完了したいものです。



午後から、蒔を採りに出かけました。この時期の山菜の一種で、油で炒めて醤油で甘辛く煮たのが大好物です。



## 4月13日 ビニール張り完了

今朝は気合を入れて、5時半に起床しました。6時過ぎからブドウ園に行ってビニール張り作業をしました。寒いなあ・・・と思っていたら、霜が降りていました。シャインマスカットの芽が出始めていますが、大丈夫でしょうか？今日は、昨日よりも黄砂が少ないような感じで、雲一つない青空が広がり、初夏のような暑さでした。2時前には作業を完了しました。



今日の夕飯のおかずは、昨日採った蕨を料理したものとトンカツ、それに今日の作業後に収穫したタラの芽の天ぷらでした。

## 4月14日 CY0Sをコンファーム

先日、3月に QSO した分を OQRS で QSL 請求していたところ、CY0S がコンファームできました。これで Mixed は 319 エンティティになりました。その他、3X1A も QSL 請求していた分がコンファームできました。9X5RU は QSL 請求しましたが、未コンファームです。

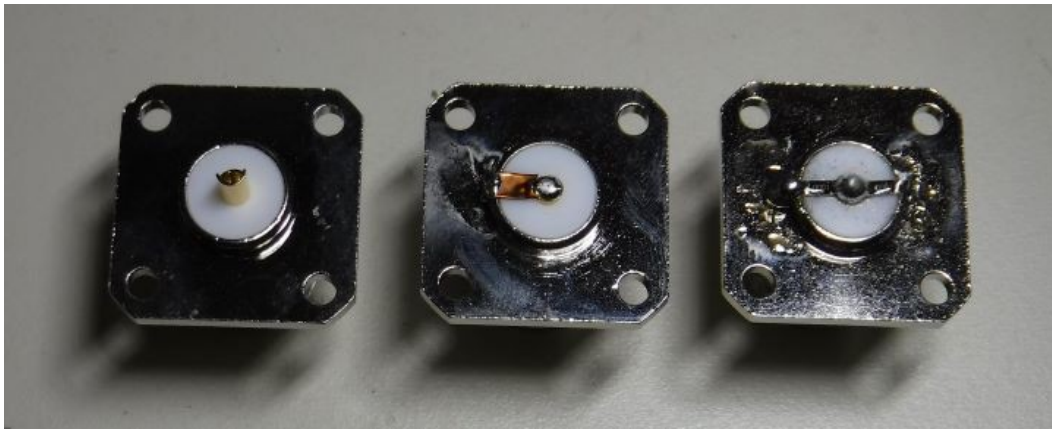
	Call sign	Worked	Date/Time	Band	Mode	Freq	QSL	DXCC
<a href="#">Details</a>	JH4ADK	3X1A	2023-03-20 22:22:00	12M	FT4	24.92100	<a href="#">GUINEA</a>	✓ 12M; Challenge
<a href="#">Details</a>	JH4ADK	3X1A	2023-02-04 22:17:00	40M	FT8	7.07100	<a href="#">GUINEA</a>	
<a href="#">Details</a>	JH4ADK	3X1A	2022-12-06 07:00:00	20M	FT8	14.08600	<a href="#">GUINEA</a>	
<a href="#">Details</a>	JH4ADK	CY0S	2023-03-22 11:41:00	30M	FT8	10.14400	<a href="#">SABLE ISLAND</a>	✓ 30M; Challenge
<a href="#">Details</a>	JH4ADK	CY0S	2023-03-26 10:44:00	17M	FT8	18.09800	<a href="#">SABLE ISLAND</a>	✓ 17M; Challenge
<a href="#">Details</a>	JH4ADK	CY0S	2023-03-29 21:42:00	15M	FT8	21.09600	<a href="#">SABLE ISLAND</a>	✓ 15M; Challenge; Mixed; Digital

昨日でビニール張りが完了したので、少しは時間的な余裕ができて DX ハンティングを少し楽しみました。T30UN とは、今日だけで 4 バンドで QSO できました。4W1A や E51CIK, T88UW などとも QSO しましたが、いずれもバンドニューではありませんでした。CE0YHF/QRP と 12mFT8 で QSO できました。モードニューかと思いましたが、既に RTTY でクレジットされているので、FT8 でニューでした。

少し前よりも、ハイバンドは賑わっています。太陽 X 線も活発で、太陽黒点数は 165 となっていて、ここ 1 カ月で一番高い値になっていました。（観測地点の数が 1 でしたので、後で下方修正される可能性があります。）

## 4月15日 VNA 校正用アクセサリの製作

今日は雨降りだったので、無線小屋に籠って実験をしました。周波数特性を測定するために Array Solution 社製の VNA uhf を使っていますが、両端に NP コネクタが付いた同軸ケーブルをキャリブレーションする時に、NJ-NJ (N 型中継) コネクタの先に NP-SMAJ 変換コネクタを取り付けてその先に SMAP のオープン・ショート・50 オームの 3 種の負荷を使用していました。どうも、この組み合わせでキャリブレーションしても、正確さを欠いているような感じがしたので、手持ちの NJ 角座金コネクタを使って、オープン・ショート・50 オームの 3 種の負荷を自作しました。



50Ωの負荷を作るために100Ωのチップ抵抗器を2個並列にしました。なるべくインダクタンスを減らすために、コネクタの半田付け用の出っ張った部分はカットしました。ショート用のアクセサリは、銅テープで周囲の金属部と内部導体を接続し半田付けしました。

## 4月16日 猟友会分会の総会と安全射撃大会

今日は午前中が猟友会分会の総会でした。午後からは岡山県クレー射撃場で、安全射撃大会でした。総会終了後にお弁当が配られたので、射撃場に移動する途中、宇甘溪に立ち寄って、お弁当を広げました。

安全射撃大会への参加は有害駆除の許可要件として必須とされているので、言わば義務的なものであり、射撃の成績は別として参加することに意味があるというものなので、シャアなしで（仕方なく）参加しました。シャアなしとは言え、天気予報通り午後からは荒れた天気になり、雹は降るし、雨が強く降ったり止んだりしました。私が射撃する時には雨が止んでいましたが、雨の中で射撃しなければならない人もいて、射撃大会ならぬ我慢大会のようなことでした。

帰宅したら5時半を回っていました。



# 4月17日 VU7W Lakshadweep Islands

インド大陸の西にある Lakshadweep Islands に YL2GM が DX ペディションに行っています。昨日の朝から QRV しているようです。VU7 は LoTW で 15m でのみコンファーム済みなので、それ以外は全部バンドニューです。オペレータは一人だけのようなので、同時に複数バンドでオンエアすることはなさそうですし、24 時間運用も難しいと思われるので、チャンスがあれば早めに QSO したいものです。既に、6m のアンテナも設置したとのことなので、難しいかもしれませんが、アンテナを西に向けてワッチしてみたいと思います。パスが開けていてもシングルオペなので、タイミングが合うかどうか微妙です。

昨夕は 10m で、今朝は 30m で QSO できました。F/H との書き込みもありますが、いずれも MSHV で運用していたようです。

The screenshot shows the JTDX software interface. The main window displays a log of radio communications. The columns are UTC, dB, DT, Freq, and Message. The log shows several QSOs on the 10m band. The control panel on the right has buttons for 'Monitor', 'Bypass', '1 QSO', and 'AnsB4'. The status bar at the bottom shows 'Receiving FT8', 'Last Tx: VU7W JH4ADK R-14', 'WD 6m', '5/15', 'Logd', '16.04.2023', and 'FT8 7733'.

UTC	dB	DT	Freq	Message	Rx Frequency
112015	-8	0.1	2047	~ VU7W JA9CHI PM86	
112015	-10	-0.9	1695	~ VU7W 6M0W PM45	
112015	-9	-0.3	635	~ VU7W JA0WIU PM96	
112015	-13	0.1	2797	~ VU7W JN1XNI PM95	
112015	-7	-0.9	2860	~ VU7W JE6TSP PM51	
112015	-14	-1.1	1392	~ VU7W BX6AD PL03	
112015	-11	-0.8	1631	~ VU7W JG3SKK PM74	
112015	-7	-1.0	994	~ VU7W JH3VWN PM74	
112015	-10	-0.9	2088	~ VU7W HL4CJG PM35	
112015	-7	-0.9	2170	~ VU7W 6K5YIA PM45	
112015	-13	-0.0	2717	~ VU7W JA0UUA PM85	
112015	-8	-0.0	1177	~ VU7W JI2KUJ PM85	
112015	-11	-0.9	1623	~ VU7W JA1FQI PM95	
112015	-9	-1.0	1680	~ VU7W JA0DIN PM96	
112015	-13	0.1	3082	~ VU7W JE2EIC OK03	
112015	-16	-0.6	1198	~ VU7W JI1SKG PM95	
112015	-15	0.1	2084	~ VU7W BG8DIV OM20	
112015	-9	-0.8	1929	~ VU7W DS2JUV PM37	
112015	-15	-0.9	2713	~ VU7W JR4CEB PM53	
112015	-16	-0.8	2393	~ VU7W 4Z5AV KM71	
112015	-12	-0.9	2156	~ VU7W DS4DBF PM34	
112015	-17	-0.9	2010	~ VU7W JA1PIG PM95	
112015	-8	-1.0	955	~ VU7W JI2FBG PM85	
112015	-14	-0.9	2450	~ VU7W JE2EBT PM94	
112015	-14	-0.4	1715	~ VU7W JF1JEQ QM05	
112015	-14	0.5	949	~ VU7W JA1AGG QM05	
16.04.23	11:20:44	UTC			10m
112030	-16	0.0	785	~ OE3KJO VU7W RR73	
112030	-16	0.0	785	~ DJ3MY VU7W R-06	
112030	-16	0.0	845	~ SP8PZA VU7W -10	
16.04.23	11:21:14	UTC			10m
112100	-12	0.0	786	~ SP8PZA VU7W -14	
112100	-13	0.0	846	~ DJ3MY VU7W R-05	
16.04.23	11:21:44	UTC			10m
112130	-14	0.1	845	~ DJ3MY VU7W RR73	
112130	-14	0.0	785	~ SP8PZA VU7W RR73	
16.04.23	11:22:14	UTC			10m
112200	-14	0.0	785	~ JH4ADK VU7W -15	
112200	-14	0.0	845	~ R210 VU7W +18	
16.04.23	11:22:44	UTC			10m
112230	-14	0.0	845	~ R210 VU7W RR73	
112230	-14	0.0	845	~ SP9HZW VU7W R-08	
112230	-14	0.0	785	~ JH4ADK VU7W RR73	
112230	-14	0.0	785	~ SQ5HG VU7W -10	

JTDX by HF community v2.1.0-rc151, derivative work based on WSJT-X by K1JT

File View Mode Decode Save AutoSeq DXpedition Misc Language Help

UTC dB DT Freq Avg=0.01 Lag=+1.00 Band Activit **\$ 10.143 000** **20:49:26** TX 15/45 Pwr

204545 -11 -0.8 2233 ~ VU7W JA5MHD PM63  
 204545 -18 -0.8 1347 ~ VU7W JE1SYN PM96  
 204545 -13 -0.7 2663 ~ VU7W I8OHQ JN70  
 204545 -18 -0.8 1288 ~ VU7W JA9NFO PM86  
 ----- 16.04.23 20:46:14 UTC ----- 30m -----  
 204600 -13 -0.0 510 ~ 9K2NO\_VU7W\_RR73  
 204600 -13 -0.0 510 ~ EA1DR\_VU7W\_-08  
 204600 -13 -0.0 571 ~ JA6LCJ\_VU7W\_RR73  
 ----- 16.04.23 20:46:44 UTC ----- 30m -----  
 204630 -14 0.0 570 ~ SP2RXH\_VU7W\_RR73  
 204630 -14 0.0 570 ~ SQ7EPH\_VU7W\_+02  
 204630 -12 0.0 630 ~ LB8DC\_VU7W\_-10  
 204630 -14 0.0 511 ~ EA1DR\_VU7W\_RR73  
 204630 -14 0.0 511 ~ DM9EE\_VU7W\_-06  
 ----- 16.04.23 20:47:14 UTC ----- 30m -----  
 204700 -13 0.0 511 ~ LB8DC\_VU7W\_RR73  
 204700 -13 0.0 511 ~ ES6RQ\_VU7W\_-12  
 204700 -13 0.0 631 ~ SQ7EPH\_VU7W\_RR73  
 204700 -13 0.0 631 ~ S57AW\_VU7W\_-02  
 204700 -13 0.0 570 ~ DM9EE\_VU7W\_-05  
 ----- 16.04.23 20:47:44 UTC ----- 30m -----  
 204730 -15 -0.0 511 ~ DM9EE\_VU7W\_RR73  
 ----- 16.04.23 20:48:14 UTC ----- 30m -----  
 204800 -14 -0.0 511 ~ RA3RCL\_VU7W\_RR73  
 204800 -14 -0.0 511 ~ EA5GS\_VU7W\_-12  
 204800 -13 -0.0 571 ~ JA7QVI\_VU7W\_+18  
 204800 -12 -0.0 631 ~ JH4ADK\_VU7W\_-03  
 ----- 16.04.23 20:48:44 UTC ----- 30m -----  
 204830 -12 0.0 631 ~ EA5GS\_VU7W\_RR73  
 204830 -12 0.0 631 ~ LA1KUA\_VU7W\_+00  
 204830 -11 0.0 511 ~ JA7QVI\_VU7W\_RR73  
 204830 -11 0.0 511 ~ F6DAY\_VU7W\_+00  
 204830 -11 0.0 571 ~ JH4ADK\_VU7W\_RR73  
 204830 -11 0.0 571 ~ JA8UIV\_VU7W\_-08  
 ----- 16.04.23 20:49:14 UTC ----- 30m -----  
 204900 -12 0.0 571 ~ JA8UIV\_VU7W\_RR73  
 204900 -12 0.0 511 ~ F6DAY\_VU7W\_RR73  
 204900 -12 0.0 511 ~ SY1AZL\_VU7W\_+00  
 204900 -10 0.0 630 ~ LA1KUA\_VU7W\_RR73

30m Spt Menu Tx FT8 Report -12 S meter  
 DX Call DX Grid Tx 876 Hz Reserved Hound  
 VU7W Tx/Rx Split AutoTX  
 Lookup Add Rx 571 Hz Wanted AutoSeq

UTC dB DT Freq Message Rx Frequency  
 204730 -15 -0.0 511 ~ DM9EE\_VU7W\_RR73  
 204745 Tx 693 ~ VU7W JH4ADK PM64  
 204800 -14 -0.0 511 ~ RA3RCL\_VU7W\_RR73  
 204800 -14 -0.0 511 ~ EA5GS\_VU7W\_-12  
 204800 -13 -0.0 571 ~ JA7QVI\_VU7W\_+18  
 204800 -12 -0.0 631 ~ JH4ADK\_VU7W\_-03  
 204817 Tx 693 ~ VU7W JH4ADK R-12  
 204830 -12 0.0 631 ~ EA5GS\_VU7W\_RR73  
 204830 -12 0.0 631 ~ LA1KUA\_VU7W\_+00  
 204830 -11 0.0 511 ~ JA7QVI\_VU7W\_RR73  
 204830 -11 0.0 511 ~ F6DAY\_VU7W\_+00  
 204830 -11 0.0 571 ~ JH4ADK\_VU7W\_RR73  
 204830 -11 0.0 571 ~ JA8UIV\_VU7W\_-08  
 204845 Tx 876 ~ VU7W JH4ADK 73  
 204900 -12 0.0 571 ~ JA8UIV\_VU7W\_RR73  
 204900 -12 0.0 511 ~ F6DAY\_VU7W\_RR73  
 204900 -12 0.0 511 ~ SY1AZL\_VU7W\_+00  
 204900 -10 0.0 630 ~ LA1KUA\_VU7W\_RR73

Enable Tx Halt Tx GenMsgs CQ DX RRR SkipTx1  
 Log QSO Erase VU7W JH4ADK PM64 Tx 1  
 VU7W JH4ADK -12 Tx 2  
 VU7W JH4ADK R-12 Tx 3  
 VU7W JH4ADK RR73 Tx 4  
 VU7W JH4ADK 73 Tx 5  
 CQ DX JH4ADK PM64 Tx 6

Hint W/L modk AGCc Filter Decode Clear DX

Receiving FT8 Last Tx: VU7W JH4ADK 73 WD 6m 11/15 Load VU7W 16.04.2023 FT8 7735

## 4月18日 昼間のお月見 (EME)

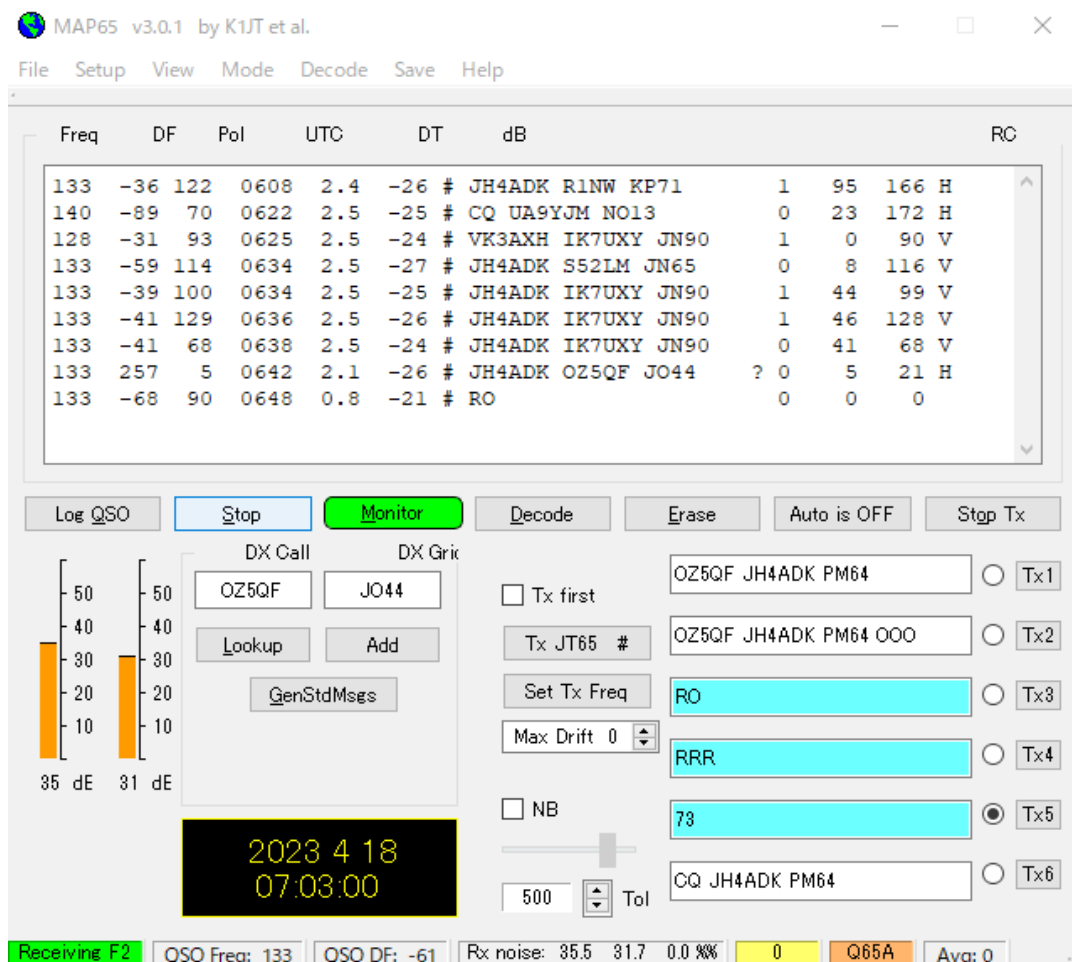
ZB2BU (ジブラルタル) が 2mEME にオンエアするという情報を得たので、今日は昼間からお月見をしました。午後1時頃には、仰角が約40度で西の空に月が見える筈ですが、今日は生憎の曇り空でしたので、月も見えませんでした。日本の午後3時はEUの午前6時です。こんな時間にEMEでEU局とQSOできるかしらと思っていましたが、ZB2BUを目当てにしてか、多くの局が集っていました。

結局、月没するまでZB2BUはQRVしてこなかった模様ですが、CQを出したところ、何局かとQSOすることができました。3局とQSOして、その内の1局はinitQSOでした。

後で調べて分かったのですが、ZB2BUは昨日(17日)までで終わったようです。14日から4日間だけのペディション? だったようです。なあ〜んだ!







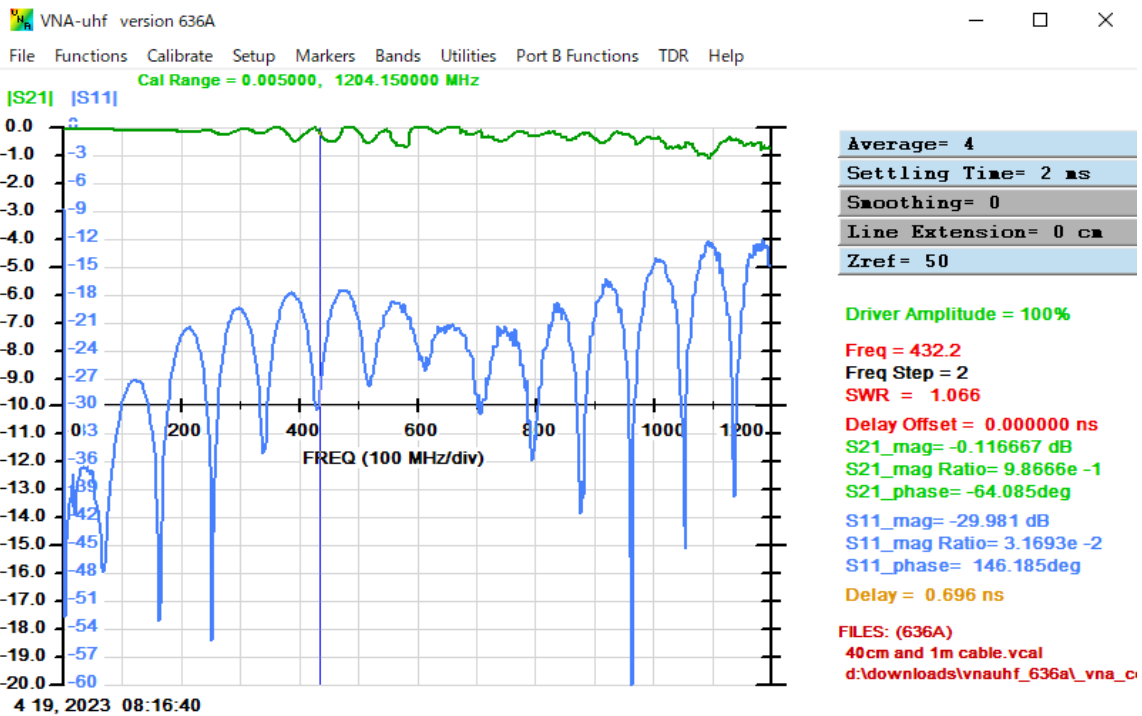
## 4月19日 続々430MHz帯用LPFの製作

今日は雨降りだったので、これまで実験のおさらいをした上で再度フィルター製作をしました。結果的に今日の実験でまずまずの成果が得られました。

実験にあたり、次のような方針で臨みました。

- 1) 3次チエビシエフ型LPFと432MHzの $\lambda/4$ ショートスタブを組合わせた構造とする。
- 2) PCBへの穴明けは手間が掛かるので、PCBは以前製作したものを流用する。
- 3) ステップバイステップで進めて行き、着実に良好な結果が得られるようにする。

まず、コネクタ間をマイクロストリップライン（幅2.73mm・厚さ80 $\mu$ mただしPCBは板厚1.5mmのFR4で50 $\Omega$ となる）だけで接続し、この時のS11とS21を記録しました。



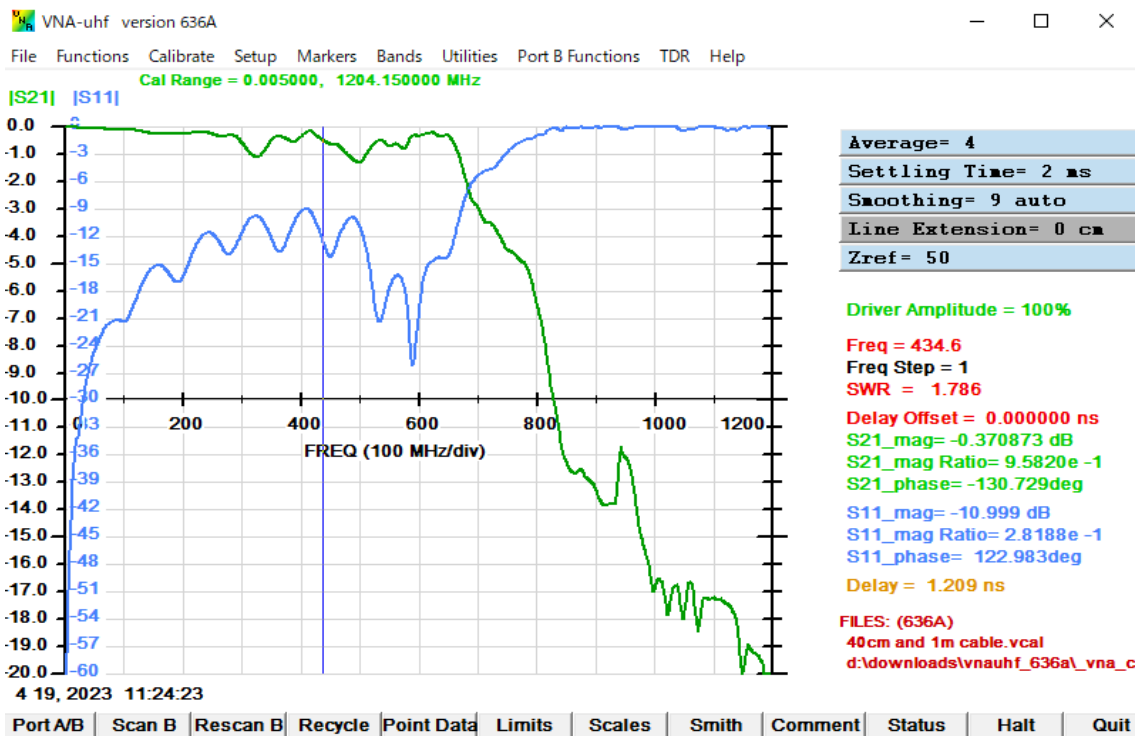
かなり波打っていますが、これがベースなので仕方ありません。



次に、3次チエビシェフ型 LPF だけを実装して、特性を測定しながら調整しました。

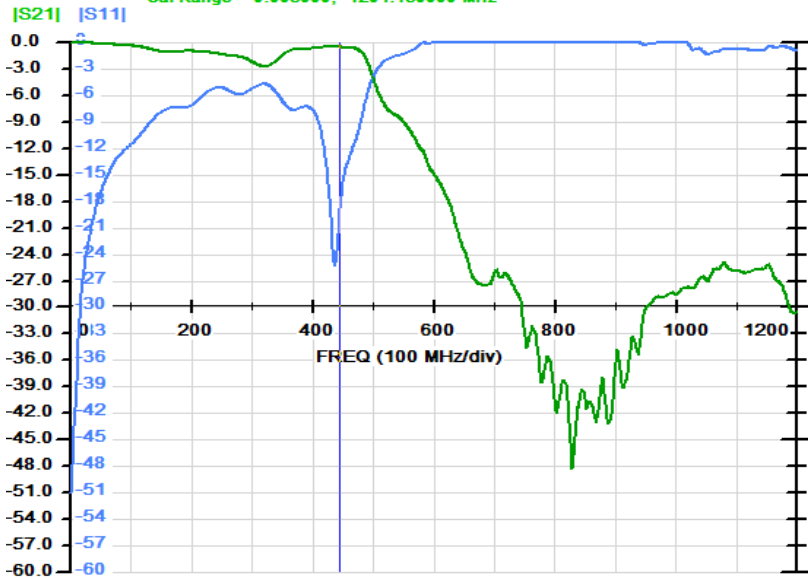
C1=C2=6.5pF として 2 枚の 13x13.5mm の銅テープをカットしたものと、L1 として直径 1.6mm のエナメル線を長さ 36.7mm にカットしたものを直径 5mm のアルミ棒に 2 回巻いて、コイルの長さを 4.7mm に整えたものを用意しました。

L1 を取付けるためにマイクロストリップラインの中心から少しずれたところに幅 3.1mm のギャップを作ります。中心からずらしたのは、後で  $\lambda/4$  ショートスタブを追加するためです。こうして作った LPF の特性は次のようになりました。



432MHz 近傍で SWR が 1.8 近くもあり、このままでは使えません。QcusStudio で C1/C2 の値を変化させて机上実験したところ、L1 はそのままで C1/C2 を大きくすれば、S11 のディップ点を下げることができることを確認したので、銅テープを追加して C1/C2 を大きくしました。結局、C1/C2 としては 13.5x31mm のサイズで次のような特性になりました。

Cal Range = 0.005000, 1204.150000 MHz



4 19, 2023 15:06:57

Average= 4
Settling Time= 2 ms
Smoothing= 9 auto
Line Extension= 0 cm
Zref= 50

Driver Amplitude = 100%

Freq = 441.9

Freq Step = 1

SWR = 1.181

Delay Offset = 0.000000 ns

S21\_mag= -0.492394 dB

S21\_mag Ratio= 9.4489e -1

S21\_phase= 168.618deg

S11\_mag= -21.877 dB

S11\_mag Ratio= 8.0566e -2

S11\_phase= -173.104deg

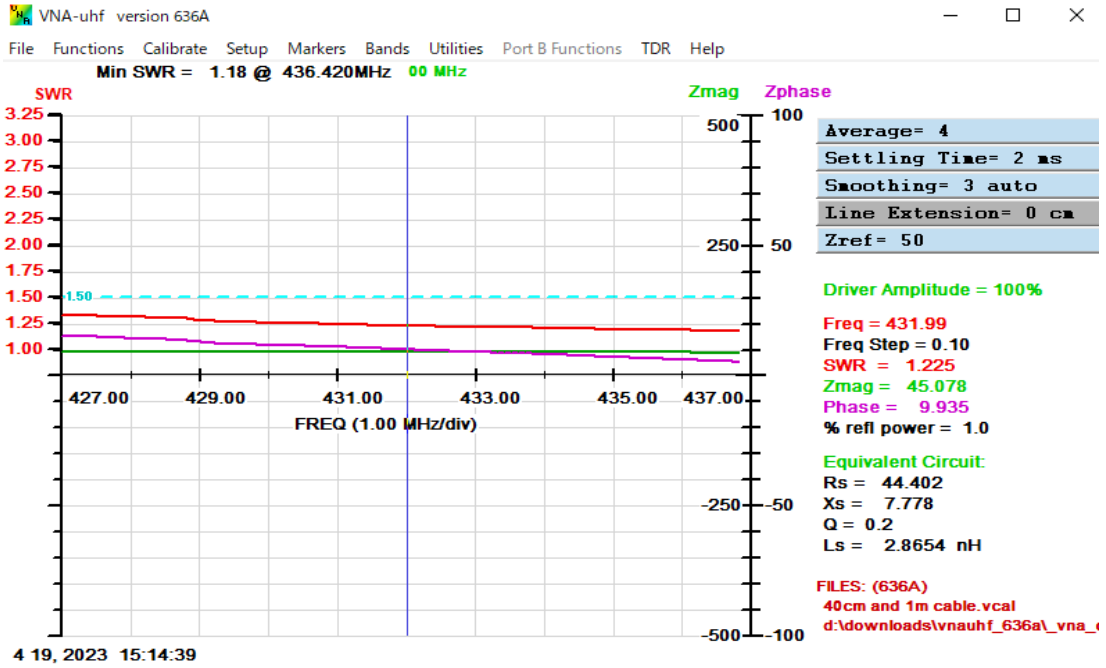
Delay = -27.187 ns

FILES: (636A)

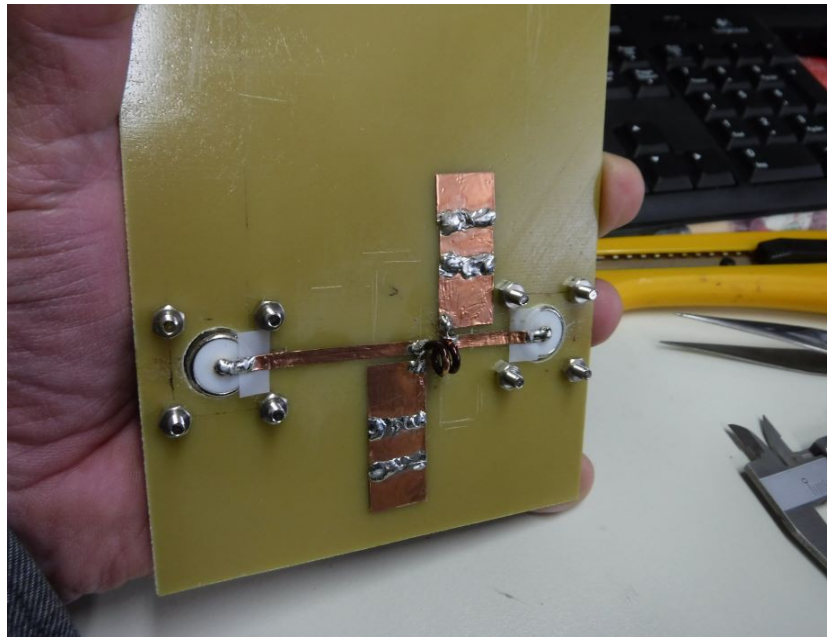
40cm and 1m cable.vcal

d:\downloads\vnauhf\_636a\\_vna\_c

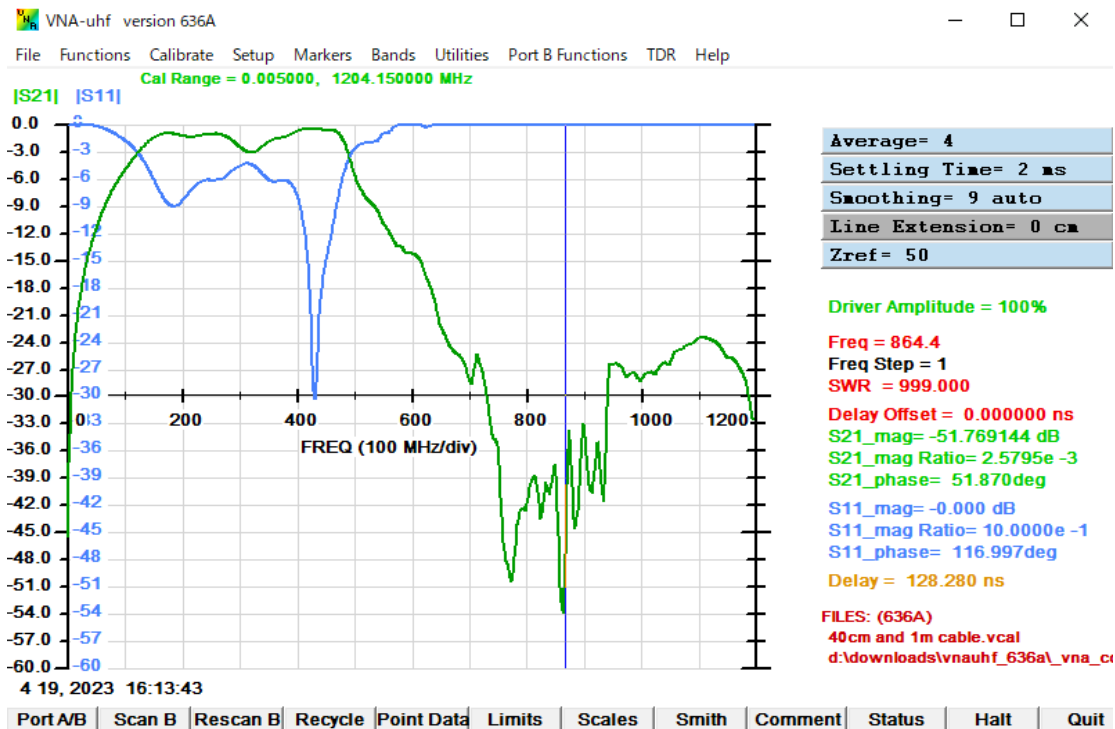




432MHz 近傍の SWR は 1.04 と良好で、S21 は-0.5dB です。

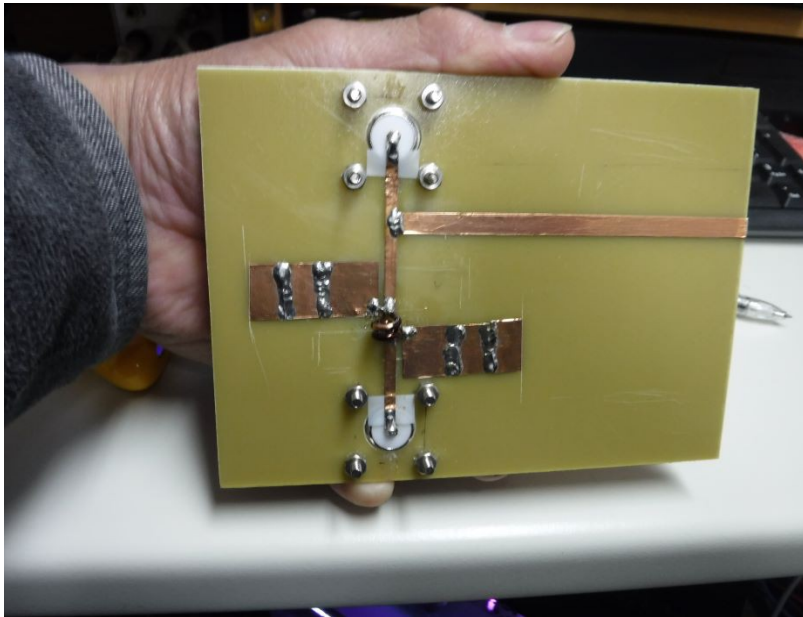


今度は、2次高調波を低減するための $\lambda/4$ ショートスタブを追加します。銅テープの幅は5mmとし、長さは93mmとしました。（長さは以前から実験していて、基板の端で裏面の銅箔とショートする必要があるので、マイクロストリップラインを貼る前のコネクタの位置を決定する時に決めていました。）この時の特性を以下に示します。



864MHz近傍のS21は、 $\lambda/4$ ショートスタブが無い時とあまり変化が無いように見えますが、100MHz以下ではS11（リターンロス）がショートスタブの影響を受けて大きな値になっています。

これをきっちりしたケースに組み込めば実用になりそうです。



## 4月20日 ブドウの芽が出始めました

先週末は各種イベントで野良仕事は休みにしていましたが、此処の処雨続きだったので久しぶりにブドウ園に行きました。やはり、ブドウの芽が出始めていました。一番早いのはデラウェアです。安芸クイーン、シャインマスカット、ピオーネの順に続きます。同じ品種でも若木の方が成木よりも芽吹くのは早いようです。これから益々忙しくなります。



## 4月21日 ブドウの樹の株元に畳表を敷く

今日も一日中晴れて良い天気でした。午前中はブドウ棚の下の草刈りをして、午後からはブドウの樹の株元に畳表を敷きました。畳屋を営む知人から畳表を譲ってもらい、それをブドウの樹の株元に敷きました。防草対策として毎年やっていることです。



## 4月22日 Husqvarna のブロアをポチッとしました

以前から気になっていたのですが、ブドウ園の落ち葉を集めたり、山の落ち葉を集めたり、道の草刈りをした後に掃除をしたり、裏庭の掃き掃除をしたり・・・するためにブロアがあったら良いなあ・・・と！

昨日、ウチの奥さんのリクエストもあり、ネットショップでポチッとしました。チェーンソーで有名なメーカーである Husqvarna の製品が¥18,200 と国内メーカーの製品よりも一段安かったので、迷わず価格で選びました。ひょっとしたらイミテーションかも知れない・・・などと心配していましたが、本物のようです。Husqvarna の本社はスウェーデンにありますが、箱に貼付されているシールを見ると、この製品はアメリカ(USA)で組立てられ、イギリス(UK)に輸出された後、日本にやってきたようです。





実は、今朝、道沿いをナイロンコードカッターで草刈をしたばかりでした。従来は草刈りをして、そのままにしていたのですが、午後にブロワーが配達されたので、試運転してみました。竹箒で掃くよりは数段楽です！



1990年代に毎年のようにハワイに社員旅行で行っていた頃に、現地の公園整備をしている人たちが、この手のブロワーで掃除をしているのを見かけたことがありました。あれから30年程経過して、まさか自分でもこんな道具を買うようになるとは思いませんでした。

## 4月23日 筍堀&プチピザパーティー

コロナで中止していた春のピザパーティーを4年ぶりに開催しました。昨日からピザ生地をこねて準備していました。こここのところ手抜きして、市販のピザばかりを焼いていましたが、やはり手作りの方が厚みがあって、パリッと焼けて良いです。今回のピザは、土手の作り方を工夫したのが良かったのかもしれない。



今年は、猪に筍をかなり食害されているので、筍を探すのに苦労しました。代わりにという訳ではありませんが、猪のスペアリブを焼いて食しました。穏やかな良い天気だったので、少人数でしたが良いピザパーティーができました。

## 4月24日 「刈れるんです！！」を使ってみました

先週のオンライン飲み会で話題に上った「刈れるんです！！」という樹脂製の草刈り用の刃を使ってみました。最初は、樹脂製とはいえ刃先が鋭くて軽量で径が小さいこともあり、チップソー等に比べて風切り音が小さくて良く切れました。ただし、直径が36Pのチップソーよりも一回り小さいので、1回のストロークで刈れる幅が狭いため、作業時間が余計に掛かるような感じです。（写真のチップソーは40P）





1時間程、太陽光発電所の芝生に生えた雑草を刈った後で、樹脂製ブレードの刃先を見るとかなり丸くなっていました。終わりの頃になると、刈った草の種類が最初の頃と違うこともあります。チップソーのように草の砕けた破片が飛んできて着衣が汚れましたし、顔のあたりにも破片が飛んでくるので、グラス等の防具が必要です。製品のラベルには「8時間から10時間の使用が可能です」と書いてあり、耐久性に関しては今一つだと思いました。価格は1枚1000円ちょっとだったので、コスパから見ると500円クラスのチップソーの方に軍配が上がりそうです。メリットは軽い事と、静音なことです。私はバッテリーの草刈り機（刈り払い機）を持っていませんが、そういうのとの組み合わせが良いのかもしれませんが。

「刈れるんです」というネーミングはどこかで聞いたことのあるような・・・と考えみると、「写ルンです」というカメラを思い出しました。ネーミングからは、最高水準のクォリティーというよりも「乙なものです」というニュアンスが伝わってきます。価格が300円位だったら買うかもしれませんが、1000円じゃあねえ？！

## 4月25日 430MHz 帯用 LPF をケースに入れて完成！

4月19日のブログで紹介している430MHz帯用LPFをケースに入れました。ちょっと大きめのケースなので、工作は簡単でした。使用したケースはタカチのT20-6-13(W200xH60xD130)アルミシャーシです。蓋の部分にN型コネクタを取り付けるを穴を明けただけなので、別途アルミ板を用意すれば再利用も可能です。

PCBのままでもコネクタはしっかりと取り付けられていたので問題はなかったのですが、裏側のコイル等にモノが当たって変形したり、半田付け箇所が損傷するのを予防するためにケースに入れた方が良くろうと思ってのことです。

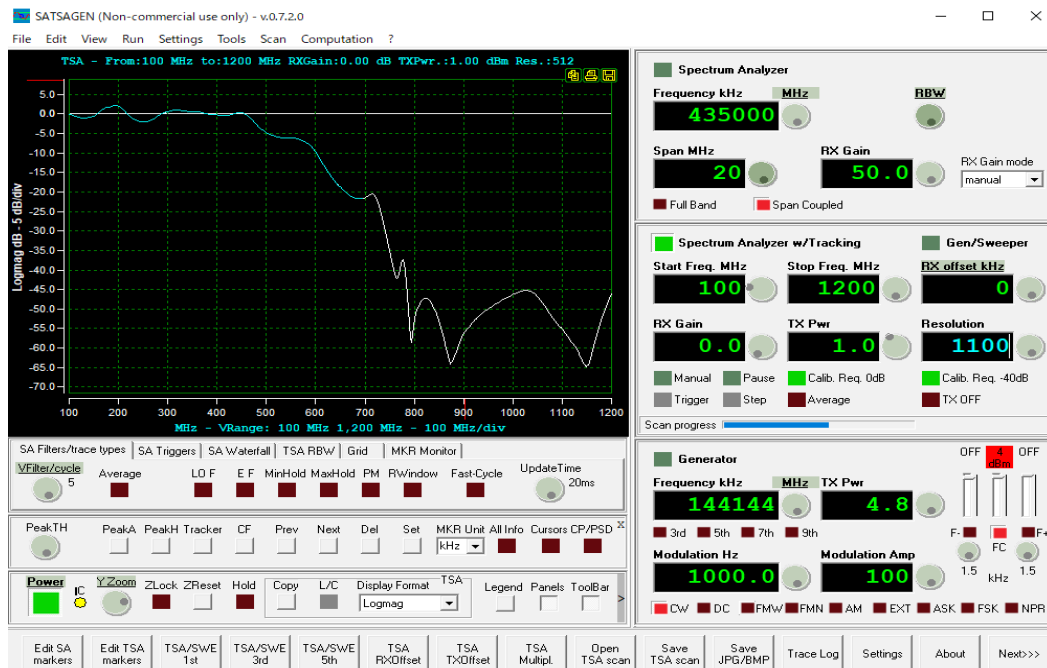


## 4月26日 TG付スペアナ by ADALM Pluto

先日完成した430MHz帯用LPFの特性をVNA uhfで測定してはいるのですが、周波数特性の測定方法としては、トラッキングジェネレータ付のスペアナ（TG付スペアナ）を用いるのが一般的なのかもしれません。TG付スペアナとなると、安いものでも30万円位しますし、高いものは1000万円以上もするので、おいそれとは手が出ません。簡易的なものでも良いので、何か良い方法はないかと思いを巡らせていたところ、手持ちのADALM Plutoを利用してTG付スペアナにしてしまうアプリがあることに気がきました。そのアプリとはSATSAGENです。以前、ADALM Plutoを手に入れた頃に、色々試していた時に、このアプリも試していて、スペアナやシグナルジェネレータとして使ったことはあるのですが、TG付スペアナとして使うのは今回が初めてです。私はテクトロのスペアナを持っているので、ADALM Plutoをスペアナとして使うことにはあまり興味がありませんでしたが、TG付スペアナとなると話は別です。

SATSAGENをTG付スペアナとして使うには、先ず0dBと40dBのアッテネータを用いて校正する必要があるようです。SATSAGENに色々な機能が盛り込まれているようですが、使い方を説明したマニュアルなどが見当たりませんでしたので、思いつくまま色々試してみたので、適切な方法なのかどうかは不明です。

SATSAGENを使って先日完成した430MHz帯用LPFの周波数特性を測定した図を以下に示します。



4月19日のブログで紹介しているVNA uhfでの測定結果と比較し易いように、周波数範囲を同じにしました。低い周波数では0dBを上回るような（ゲインがあるような）結果が得られているので、測定器としてはいい加減なものだということを示しています。それでもLPFとしての周波数特性は、概ね一致しているような感じです。VNA uhfの測定結果が正しいのか、SATSAGENの測定結果が正しいのか、どちらも正しくないのか・・・??

テスターやディップメータのようなアマチュア的な測定器だと思えばそこそこ使えるでしょう。しかも、70MHz~6GHzの周波数範囲で使用できるのですから中々の優れモノです。

SATSAGENという名前ですが、SpectrumAnalyzerのSAとTrackingSpectrumAnalyzerのTSAとsignalGENeratorのGENを合成したものではないかと思ったりします。

## 4月27日 FIAT DUCATO H2L2 を見に行きました

2009年に購入したHiAceが古くなったので、買い替えたいと思っています。昨年9月にFAITの商用バンであるDUCATO Professionalを日本で販売することになったという

ニュースに接して以来、HiAceの次はDUCATOにしたいと思いつけているのです。DUCATOの何処が良いのかというと、ウォークスルーである（運転席から外にでることなくキャビンに移動できる）という点です。特に雨の日などには、快適です。また、ドアを開閉しなくてもスライドドアを通して出入りできるので、駐車場などで隣の車との間が狭い時にドアを開閉して隣の車に当たる心配がありません。もう一つの特徴は、運転席と助手席のシートが回転するので、そのままダイネット（食事をするとき）のシートとして利用できます。また、日本市場には英国市場同様、右ハンドル車が供給されます。

今年2月のキャンピングカーショー以降、DUCATOに関する動画などを見て大体のことは分かってきましたが、百聞は一見に如かずという言葉通り、やはり現物を見ることが重要だと思っていたので、本日現物を見るために香川の岡モータースに行きました。



使用中のHiAceは自分でキャンピングカーに改造したので、今回も自分で改造しようと思っています。そのためにも、裸のDUCATOはどんなものなのかを目で見て確かめておきたかったのです。しかし、直ぐに注文するかというとそうではありません。改造するとなると時間がかかるので、どっちみち今年の鮎釣りシーズンには間に合わないため、秋以降に納車してもらえば十分なのです。

DUCATO H2L2の全長は5410mmであり、今のHiAce SuperLongとほぼ同じですが、幅が2050mmと170mmも広くて、高さが2525mmと240mmも高いのです。特に車幅が広くなるのが気になります。この車幅は、4トンダンプよりも少し（約150mm）狭い位です。

4トンダンプの車幅はメーカーにより若干異なりますが、2200mm位です。4トンダンプの全長は約5420mmなのでほぼ同じです。別の例を挙げると、HUMMER H2は車幅2062mm、全長5171mmなので、車幅こそ12mm狭いものの長さは239mm長いのです。

私は、今年で65歳になりました。車で旅をするとすれば、あと10年が関の山です。なので、車を買うとしても、最後の車になるかもしれません。色々と考え中です。

買うべきか？見送るべきか？それが問題だ！？

## 4月28日 VU7W は今日まで

このところ毎日（毎朝）VU7Wのことを気にしていました。午前3時とか4時とかにトイレに行った時にはパソコンを起動して、どの周波数帯にオンエアしているのかをチェックして、もしも未交信のローバンドにオンエアしていたら無線小屋に行ってワッチするということを繰り返していました。今朝は3573kHzのFT8にオンエアしていました。何日か前に3565kHzに出ていた時はめっきり弱くてデコードできませんでしたが、今朝は強くてちゃんとデコードできました。しかし、JAとはパスが開いていないのかQSOできませんでした。数日前に1.8MHzに出ていた時は、7時頃になってもちゃんとデコードできましたが、QSO出来ずじまいです。7MHz用のアンテナは多分ローディングコイルが壊れていて、SWRが悪くなっているだけではなくゲインも低くなっているようで、ここでもQSOできませんでした。

とは言え、30/20/17/15/12/10mバンドでQSOできました。15m以外はバンドニューなので、5つのバンドニューをゲットできました。6mは何度も午後7から9時の間にワッチしましたが、一度もデコードできませんでした。

それにしても、Yurisは良くここまでサービスしてくれたものです。いつ寝ていたのでしょうか？本当にお疲れさまでした。Thank you very much Yuris.

JH4ADK has worked VU7W on 7 out of 20 band slots

Propagation from JAPAN / ZONE: 25 / Geo Propagation Map

Leaderboard for zone 25 / JAPAN / AS or in Club: JARL - Japan Amateur Radio League

	6m	10m	12m	15m	17m	20m	30m	40m	60m	80m	160m
FT8	NEW	✓	✓	✓	✓	✓	✓	NEW	NEW	NEW	NEW
CW		NEW	NEW		✓	NEW	NEW	NEW	NEW	NEW	

## 4月29日 葉面散布 1回目

ブドウを栽培し始めて11年になります。そろそろ改植を考える時期であるとともに、ブドウの樹が壮年期にさしかかりつあるようなので、栄養補給のために今年初めて葉面散布を試してみるつもりです。人間に例えると、滋養強壮・栄養補給のために〇〇ドリンク

を！というのと似ています。

シャインマスカット等は、既に芽が出て展葉1から3枚目です。葉面散布をするにソロソロ良いでしょう。



今日は昼前から雨の天気予報でしたので、雨が降り始める前に葉面散布作業を終了したかったので、6時半頃から作業を開始しました。お陰で、8時半頃に作業が終了し、雨が降りだすまでには未だ時間がかかりそうだったので、ついでに法面の草刈りもしました。結局、雨が降り始めたのは午後からでした。

葉面散布の剤として、「アラガーデンVFF」を3000倍で200リットル調整しました。2週間おきに散布すれば、6月上旬の開花までに3回散布できます。若木の発芽促進のために購入した「メリット青」が手元にあるので、これを400倍で併用しました。「メリット青」を3回散布するには、もう1リットル買い足す必要があります。「メリット青」のレシピでは、「3～5日おきに3回以上散布する」とありますが、そんなこまめに作業できそうにないので、次回の散布時に併用するかどうかは未定です。





## 4月30日 キャンピングカーの雨漏り修理

昨年の鮎シーズンの中から、キャンピングカー天井部に取り付けている換気扇のあたりで雨漏りしていることに気付いていました。応急処置としてコーキング剤を塗りましたが、まだ不完全なようです。この換気扇は自分で取り付けたので誰にも文句を言うところはありません。おそらく、ゴムが劣化しているんだろうと思います。取り付けてから10年位経過するので、寿命なんでしょう。換気扇本体も紫外線で退色しています。



色が悪くなるのは仕方ないとして、雨漏りはいただけません。仕方がないので、設置した時と同じような手法で、修理することにしました。厚さ3mmで1000x500mmのクロロプレーンゴムシートをモノタロウで購入していたので、これを現状の寸法に合わせて切り出す作業をしました。失敗すると材料がペアになってしまうので、慎重に確認しながら現物に合わせてカットしました。



もうじき天気が悪くなるという予報なので、雨の心配がないときに既設のゴムシートを

撤去して、代わりに新しいモノに張替える作業をする予定です。なので、今日のところは、カットしたゴムシートがちゃんと適合することの確認までとします。

